

転職に伴う名古屋圏から東京圏への 転出実態に関する研究

名古屋都市センター調査課

研究主査 前田 翼

1. はじめに

背景

- 主要都市から東京圏（1都3県）への転出超過が拡大、愛知県・名古屋市も同様の傾向
- 特に、25～39歳における東京圏への転出超過が増加し、転職を契機とする移動が一定程度含まれると想定

主な都道府県から東京圏への転出超過量

	① 2010年→2015年	② 2015年→2020年	増加量 (②-①)
北海道	6,929	9,117	2,188
宮城県	6,631	12,677	6,046
愛知県	7,346	23,649	16,303
京都府	4,552	10,735	6,183
大阪府	22,650	33,515	10,865
兵庫県	13,651	21,291	7,640
広島県	2,869	7,294	4,425
福岡県	3,391	13,118	9,727

主な都市から東京圏への転出超過量

	① 2010年→2015年	② 2015年→2020年	増加量 (②-①)
札幌市	5,147	6,300	1,153
仙台市	4,502	9,084	4,582
名古屋市	2,725	10,378	7,653
京都市	2,983	7,693	4,710
大阪市	6,496	9,195	2,699
神戸市	3,599	7,604	4,005
広島市	1,585	4,037	2,452
福岡市	1,087	5,446	4,359

年齢層別 名古屋市から東京圏への転出超過量

	① 2010年→2015年	② 2015年→2020年	増加量 (②-①)
総数	2,725	10,378	7,653
0～4歳	108	363	255
5～9歳	311	833	522
10～14歳	668	879	211
15～19歳	1,338	1,313	-25
20～24歳	1,494	2,135	641
25～29歳	-822	804	1,626
30～34歳	-273	1,571	1,844
35～39歳	-117	1,145	1,262
40～44歳	31	656	625
45～49歳	2	489	487
50～54歳	-41	-17	24
55～59歳	-255	-94	161
60～64歳	-66	-18	48
65～69歳	-30	-26	4
70～74歳	60	48	-12
75～79歳	78	58	-20
80～84歳	112	73	-39
85歳以上	125	166	41

出典：2015年、2020年国勢調査（移動人口）

1. はじめに

問題意識

- 名古屋市では、2015年→2020年にかけて東京圏への転出超過が拡大しており、特に25～39歳で増加が目立つ
- 名古屋市から東京圏への転出超過は政策課題として長年取り上げられてきたが、中核人材の流出は依然として続いている

目的

- 転職を契機とする名古屋圏から東京圏への転出実態とその要因をより詳細に把握

意義

- 人口流出に関する研究は、10代後半～20代前半の進学期、就職期を対象とした内容が多い
- 名古屋圏から東京圏への転出は、他都市圏と比べ、25～39歳の転職期の転出超過が多い
- 転職は個人の選好に因るものであり、統計データでは把握が困難

1. はじめに

全体構成

- | | |
|------------|---|
| 1. はじめに | 調査研究の内容・体制を整理 |
| 2. ヒアリング | 転職サイト事業者へヒアリングし、転職実態を把握 |
| 3. アンケート調査 | 転職に伴う転出者（名古屋圏と東京圏・大阪圏・福岡県）を対象に、転職理由や転出要因を把握 |
| 4. まとめ | 今後、名古屋圏で対応すべき方向性を整理 |

仮説

- 名古屋圏から東京圏への転職に伴う転出は、「年収アップ」だけではなく、「挑戦できる仕事」「キャリアアップ」を取りに行く、25～39歳の成長移動である可能性
- 名古屋圏において、25～39歳が挑戦やスキル向上を実感できる機会が見えにくい可能性

2. ヒアリング

調査内容

- ・ 対象 マイナビキャリアリサーチLab
- ・ 日時 2025年11月14日

調査結果

- ・ 近年、名古屋圏→東京圏は少なく、名古屋圏→大阪圏への転職が多い
- ・ 名古屋圏→他都市圏への移動では、フルチェンジ（異業種、異職種への転職）が多く、同一都市圏内の移動では組織チェンジ（同業種、同職種への転職）が多い傾向
- ・ フルチェンジの転職理由は、給与よりも仕事内容に不満、新しいことに取り組みたい、が多い
- ・ 他都道府県への転職割合は、20代30代の若い年代が多い傾向
- ・ 名古屋圏から他都市圏への転職をみると、配偶者無し、扶養家族無しの方が多
- ・ 調査規模の兼ね合いから、エリアを絞った調査まではできていないのが課題

➤ 近年では名古屋圏→大阪圏への転職が多いとされているが、本研究では、転出超過量が大きい名古屋圏→東京圏への転職を中心に分析を行う

3. Webアンケート調査（調査概要）

調査概要

調査期間	2026年1月8日～15日			
調査対象	2015年4月以降に都市圏間の移動を伴う転職をされた方 年齢25～39歳（転職時）			
回答者属性	名古屋圏→東京圏	127名	名古屋圏→大阪圏	64名
	東京圏→名古屋圏	108名	大阪圏→名古屋圏	56名
	計	235名	計	120名
主な調査項目	・属性（性別、年齢、職種、出身地等） ・転職理由、他の都市圏への転出理由 ・転職前後の変化			

本研究では、都市圏の区分を以下のように設定

名古屋圏：愛知県

東京圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

大阪圏：京都府、大阪府、兵庫県

3. Webアンケート調査（基礎集計）

出身地

	名古屋圏→東京圏	東京圏→名古屋圏
北海道	2.4%	0.9%
東北	0.0%	5.6%
関東	18.9%	38.0%
北関東	0.8%	2.8%
東京圏	18.1%	35.2%
埼玉県	4.7%	6.5%
千葉県	1.6%	2.8%
東京都	8.7%	16.7%
神奈川県	3.1%	9.3%
中部	65.4%	40.7%
岐阜県	3.9%	2.8%
三重県	2.4%	2.8%
愛知県	48.8%	32.4%
近畿	9.4%	7.4%
大阪圏	6.3%	6.5%
京都府	0.8%	1.9%
大阪府	2.4%	3.7%
兵庫県	3.1%	0.9%
中国	1.6%	0.9%
四国	0.8%	0.0%
九州	1.6%	3.7%
福岡県	0.0%	0.9%
海外	0.0%	2.8%
計	100.0%	100.0%

未既婚（転職時）

	名古屋圏→東京圏	東京圏→名古屋圏
既婚	48.0%	52.8%
未婚	50.4%	43.5%
離・死別	1.6%	3.7%
計	100.0%	100.0%

転職時の既婚割合は、名古屋圏→東京圏約48%
東京圏→名古屋圏約53%

子ども有無（転職時）

	名古屋圏→東京圏	東京圏→名古屋圏
いた	24.4%	36.1%
いない・いなかった	75.6%	63.9%
計	100.0%	100.0%

転職時の子どもあり割合は、
名古屋圏→東京圏約24%
東京圏→名古屋圏約36%

出身地へ戻る転職は、
名古屋圏→東京圏で約18%、東京圏→名古屋圏で約32%

➤ 転職による都市圏移動は、出身地関連の移動も一定数あり、転職時既婚の割合が約半数

3. Webアンケート調査（基礎集計）

転職理由（複数回答可） 名古屋圏⇄東京圏

	名古屋圏→東京圏	東京圏→名古屋圏
1. やりたい業務・プロジェクトに携われる環境を求めた	19.7%	19.4%
2. 自分の能力・スキルをより活かせる仕事を求めた	18.9%	26.9%
3. 裁量を持って仕事を進められる環境を求めた	7.9%	16.7%
4. 挑戦的な仕事に取り組める機会を求めた	11.0%	13.9%
5. 成長の機会（学習・研修・新しい業務）が多い環境を求めた	13.4%	18.5%
6. 成果や貢献がより適切に評価される環境を求めた	10.2%	12.0%
7. 納得できる昇給・昇進の機会を求めた	13.4%	18.5%
8. 処遇（年収・賞与）を改善したいと思った	18.9%	24.1%
9. 労働時間や残業の負担を見直したいと思った	13.4%	15.7%
10. 柔軟な働き方（在宅・フレックス等）が可能な環境を求めた	8.7%	6.5%
11. 休日・休暇を取りやすい環境を求めた	11.8%	12.0%
12. 自分に合うマネジメントのもとで働きたいと思った	4.7%	6.5%
13. 自分に合う職場の雰囲気・人間関係を求めた	15.7%	9.3%
14. 意思決定が速く、業務が効率的に進む環境を求めた	2.4%	3.7%
15. 将来性のある企業で働きたいと思った	13.4%	13.9%
16. 将来性のある業界で働きたいと思った	7.9%	8.3%
17. 納得できる勤務地・通勤条件を求めた	9.4%	13.0%
18. グローバルな仕事に携わりたいと思った	3.1%	2.8%
19. 家族の事情（親の介護など）に対応できる働き方が必要だった	7.9%	8.3%
20. 配偶者の転職や転勤などにより、自身も転職する必要性が生じた	14.2%	12.0%
21. その他：	3.9%	1.9%

名古屋圏⇄東京圏 1. やりたい業務／2. 能力・スキルを活かせる／8. 処遇（年収・賞与）が上位
名古屋圏→東京圏 13. 職場の人間関係、20. 配偶者の転勤や転職による影響が上位
東京圏→名古屋圏 3. 裁量を持った仕事／5. 成長機会／7. 昇給・昇進が上位

➤ 東京圏→名古屋圏の方が、仕事内容や働き方に関する項目の選択率が相対的に高い

3. Webアンケート調査（基礎集計）

転職理由（複数回答可） 名古屋圏→東京圏（再掲）、名古屋圏→大阪圏

	名古屋圏→東京圏	名古屋圏→大阪圏
1. やりたい業務・プロジェクトに携われる環境を求めた	19.7%	18.8%
2. <u>自分の能力・スキル</u> をより活かせる仕事を求めた	18.9%	<u>25.0%</u>
3. 裁量を持って仕事を進められる環境を求めた	7.9%	7.8%
4. <u>挑戦的な仕事</u> に取り組める機会を求めた	11.0%	<u>20.3%</u>
5. 成長の機会（学習・研修・新しい業務）が多い環境を求めた	13.4%	12.5%
6. 成果や貢献がより適切に評価される環境を求めた	10.2%	10.9%
7. 納得できる昇給・昇進の機会を求めた	13.4%	12.5%
8. <u>処遇（年収・賞与）</u> を改善したいと思った	18.9%	<u>23.4%</u>
9. 労働時間や残業の負担を見直したいと思った	13.4%	10.9%
10. 柔軟な働き方（在宅・フレックス等）が可能な環境を求めた	8.7%	15.6%
11. 休日・休暇を取りやすい環境を求めた	11.8%	15.6%
12. 自分に合う <u>マネジメント</u> のもとで働きたいと思った	4.7%	<u>10.9%</u>
13. 自分に合う職場の雰囲気・人間関係を求めた	15.7%	17.2%
14. 意思決定が速く、業務が効率的に進む環境を求めた	2.4%	1.6%
15. 将来性のある企業で働きたいと思った	13.4%	12.5%
16. 将来性のある業界で働きたいと思った	7.9%	6.3%
17. 納得できる勤務地・通勤条件を求めた	9.4%	12.5%
18. グローバルな仕事に携わりたいと思った	3.1%	1.6%
19. 家族の事情（親の介護など）に対応できる働き方が必要だった	7.9%	9.4%
20. <u>配偶者の転職や転勤</u> などにより、自身も転職する必要が生じた	14.2%	<u>14.1%</u>
21. その他：	3.9%	1.6%

名古屋圏→大阪圏

2. 能力・スキル／8. 処遇（年収・賞与）が上位

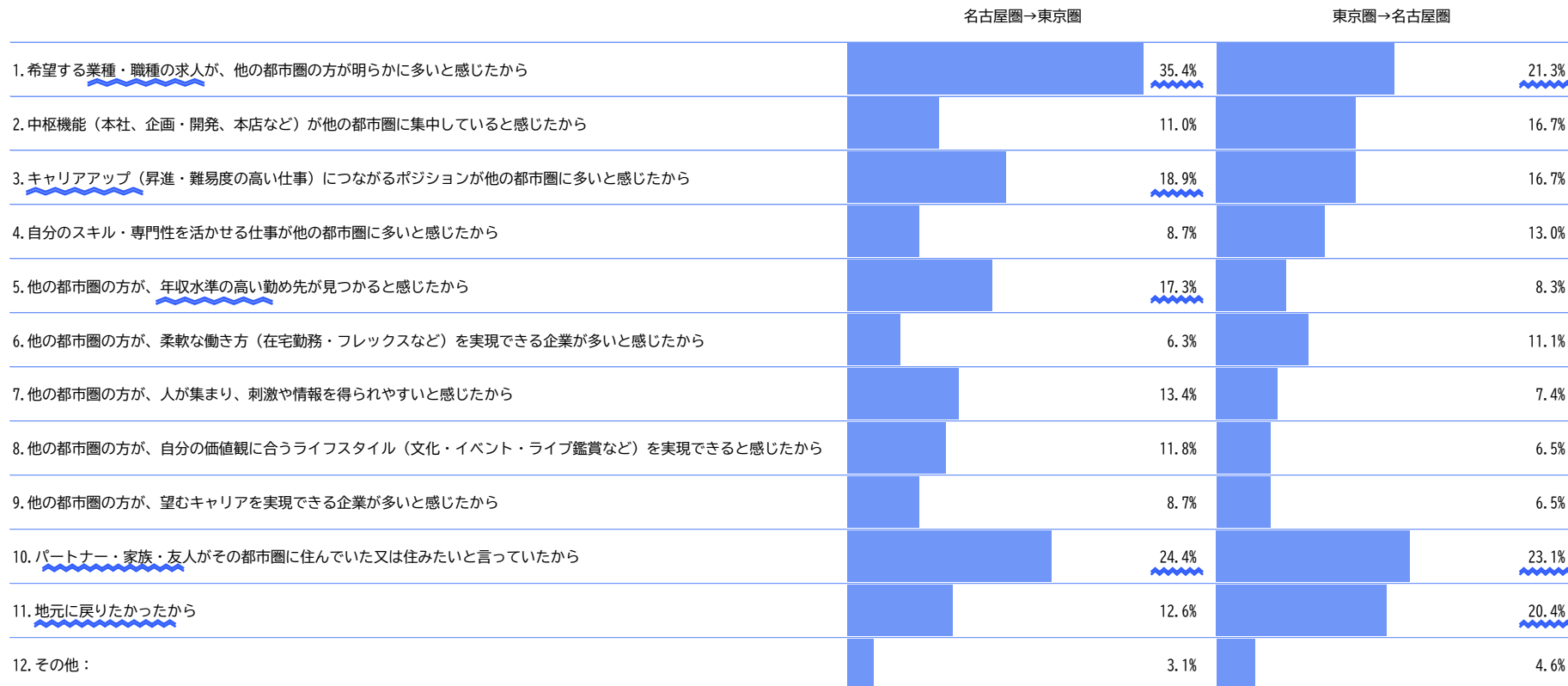
20. 配偶者の転勤や転職による影響は、名古屋圏→東京圏と同様に上位

名古屋圏→東京圏に比べ4. 挑戦的な仕事、12. 自分に合うマネジメントが高い

➤ 名古屋圏→大阪圏では、能力・スキル／挑戦的な仕事／自分に合うマネジメントの選択率が相対的に高く、東京圏とは異なる転職理由もみられる

3. Webアンケート調査（基礎集計）

転職した際、他の都市圏へ転出した理由（複数回答可） 名古屋圏⇄東京圏



名古屋圏→東京圏

1. 希望する求人の多さ／3. キャリアアップ／5. 年収が上位であり、
10. パートナー・家族・友人による影響も上位

東京圏→名古屋圏

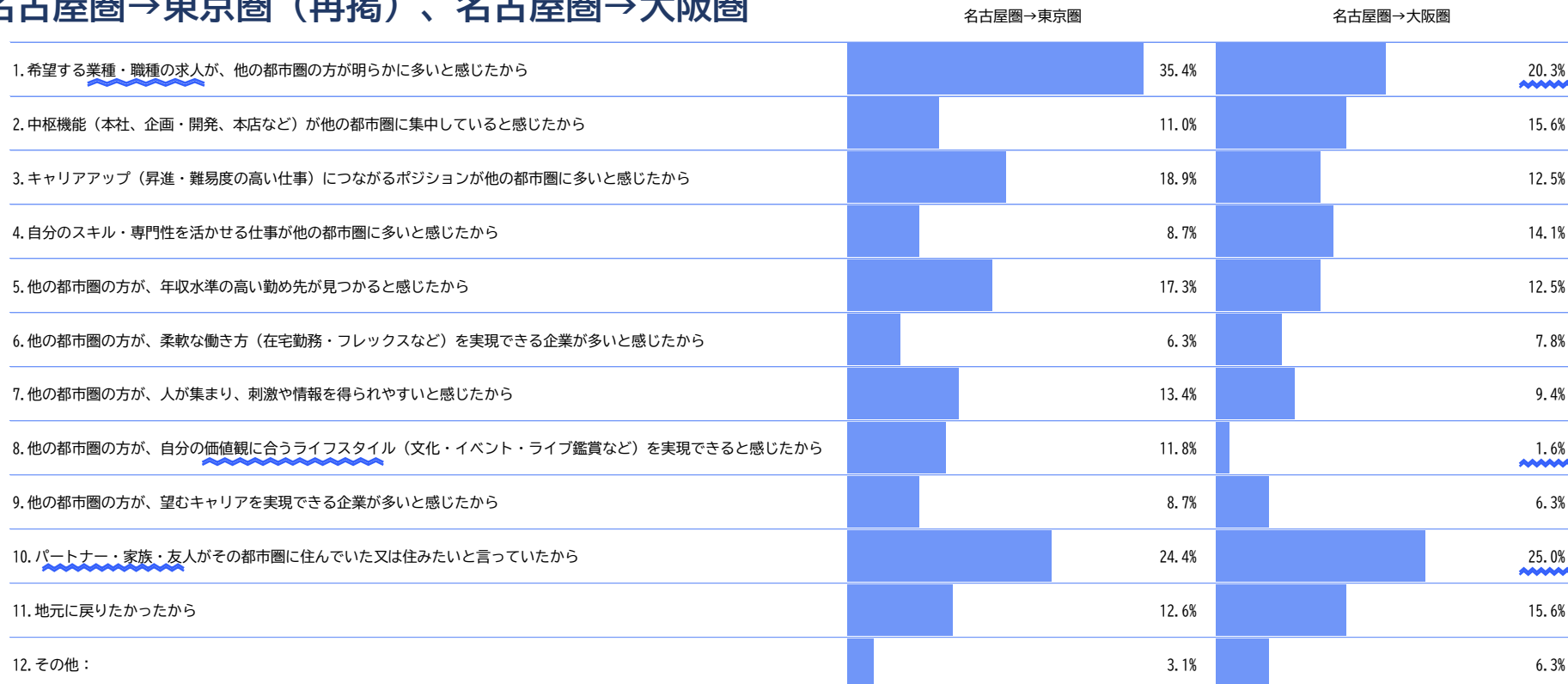
10. パートナー・家族・友人による影響／11. 地元に戻りたいが上位であり、
1. 希望する求人の多さも上位

➤ 希望する求人の多さを求めて他都市圏へ転出しているが、家族等による影響も大きい

3. Webアンケート調査（基礎集計）

転職した際、他の都市圏へ転出した理由（複数回答可）

名古屋圏→東京圏（再掲）、名古屋圏→大阪圏



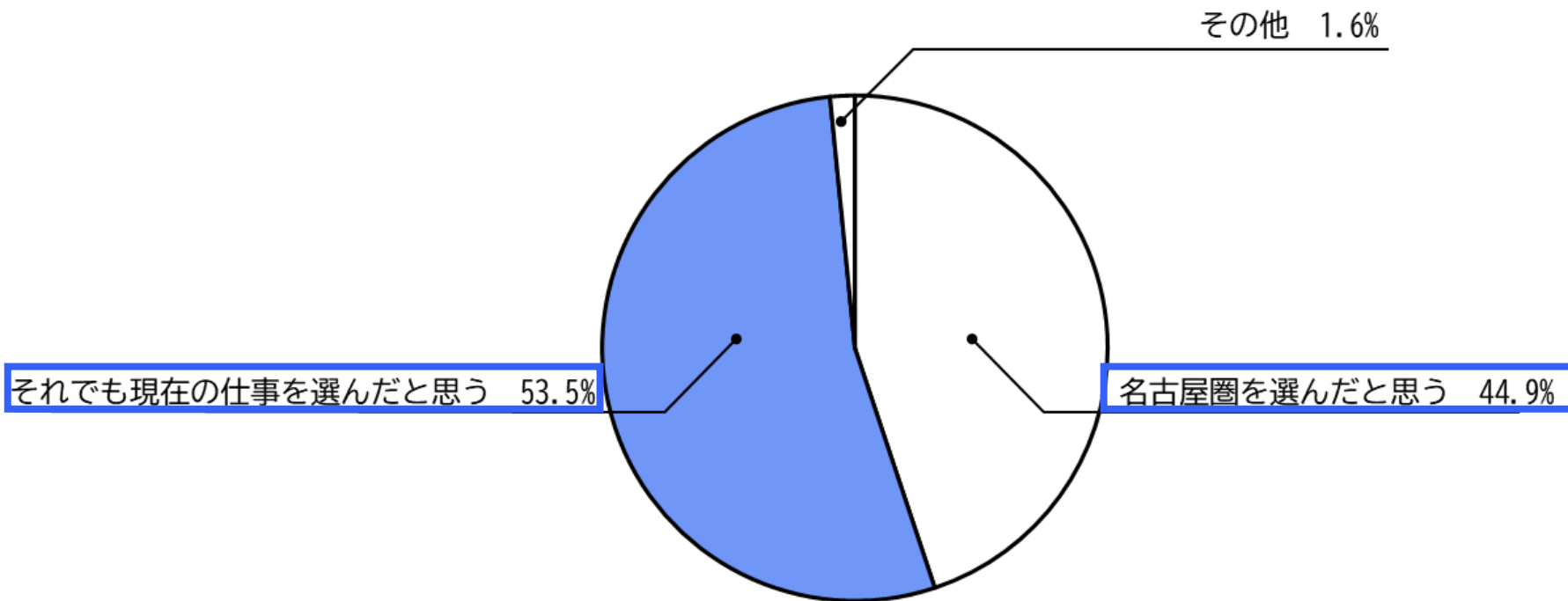
名古屋圏→大阪圏

10. パートナー・家族・友人による影響、1. 希望する求人の多さが上位
名古屋圏→東京圏に比べ、8. 自分の価値観に合うライフスタイルは低い

➤ 名古屋圏→大阪圏では、希望する求人の多さ／家族等による影響が上位である一方、価値観に合うライフスタイルの選択率は名古屋圏→東京圏より低い

3. Webアンケート調査（基礎集計）

今の仕事・年収・裁量と同条件なら、名古屋圏を選んだか（名古屋圏→東京圏）



- 名古屋圏からの転出には、仕事面以外の要因も関係していると想定されるが、半数近くは名古屋圏を選ぶと回答

3. Webアンケート調査（基礎集計）

次に転職する際、この条件があれば名古屋圏で転職する（複数回答可）（名古屋圏→東京圏）

	名古屋圏→東京圏
1. <u>年収</u> が増加	56.7%
2. 本社・企画・研究開発等の中枢機能が名古屋圏に立地している	39.4%
3. 職住近接している	50.4%
4. テレワーク・フレックス等の柔軟な働き方がしやすい	51.2%
5. 希望する <u>業種・職種</u> の求人が名古屋圏に十分ある	53.5%
6. 希望する業種の産業が集積しており、人が集まりやすく、刺激や情報を得られやすい	48.8%
7. 若手でも裁量権が大きい仕事がある	44.1%
8. 自分の <u>専門性・スキル</u> を高められる研修・学習機会が充実している	53.5%
9. 成果ベースで昇給・昇格できる	49.6%
10. 職場の意思決定が速く、効率的な会議・打合せができる	45.7%
11. 同世代の人が多く働いている職場・エリアがある	50.4%
12. グローバルに活躍できる仕事がある	34.6%
13. 地元や家族・友人との距離を今より近くできる	53.5%
14. <u>余暇</u> を楽しめる商業施設・飲食・イベント等の選択肢が多い	61.4%

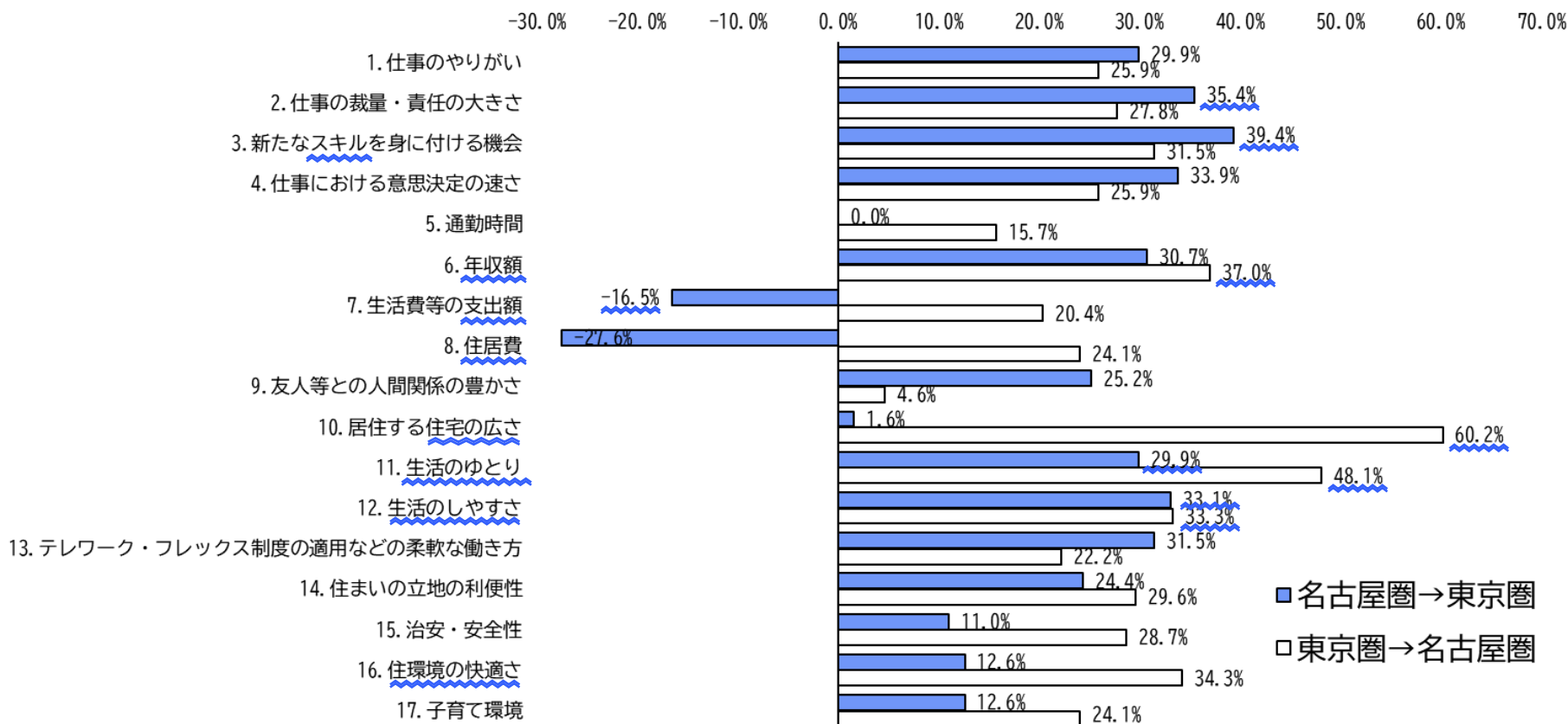
名古屋圏→東京圏 1. 年収／5. 求人／8. 専門性・スキルといった給与や仕事内容に関する項目が上位にある一方、14. 余暇を楽しめる選択肢が最上位

➤ 名古屋圏での転職を考える条件として、仕事面に加え、余暇を楽しめる選択肢も重視されている

3. Webアンケート調査（基礎集計）

※（やや）良くなった割合-（やや）悪くなった割合

転職前後の変化の差分※（名古屋圏⇄東京圏）



名古屋圏→東京圏

3. スキル／2. 仕事の裁量・責任に加え、11. 生活のゆとり／12. 生活のしやすさも高いが、7. 生活費／8. 住居費は悪くなった割合が高い

東京圏→名古屋圏

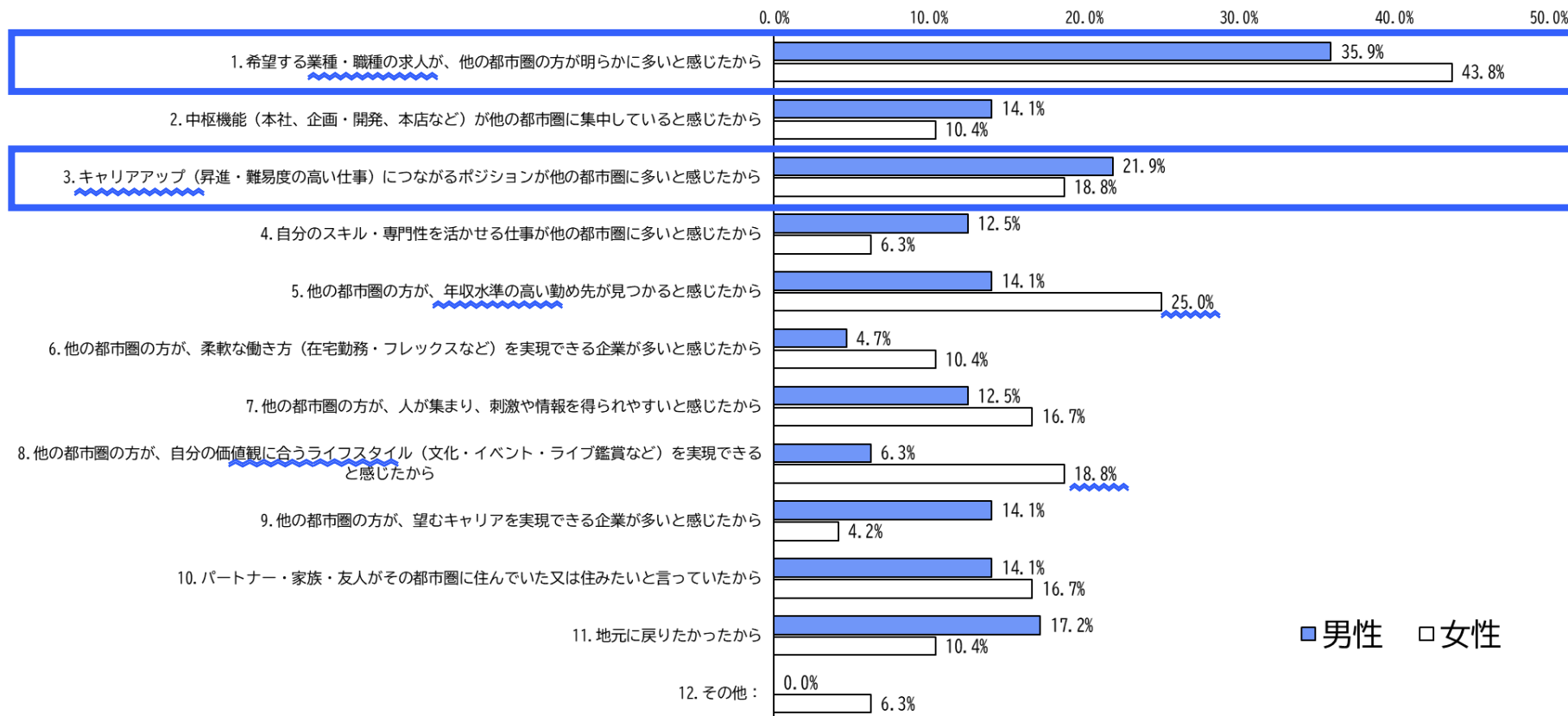
10. 住宅の広さ／11. 生活のゆとり／12. 生活のしやすさ／16. 住環境の快適さといった居住しやすさに関する項目が高く、6. 年収も高い

➤ 東京圏へ転出して、趣味や余暇といった生活面が良くなっている

3. Webアンケート調査（抽出集計）

「1番の転職理由が配偶者の転職や転勤による影響以外」（男性64/66人、女性48/61人）

転職した際、他の都市圏へ転出した理由（複数回答可）（名古屋圏→東京圏）



名古屋圏→東京圏（男女） 1. 求人の多さが最上位、3. キャリアアップも上位
 （女性） 5. 年収の高さ／8. 価値観に合うライフスタイルの実現も上位

- 東京圏への転出は、求人の多さが効いていると想定
- 女性は仕事面だけでなく、ライフスタイルも重視した東京圏への転出がみられる

3. Webアンケート調査（抽出集計）

「転職後に年収増」（名古屋圏→東京圏43/127人（約34%）、東京圏→名古屋圏38/108人（約35%））

転職前後の個人年収

	名古屋圏→東京圏		東京圏→名古屋圏	
	名古屋圏	東京圏	東京圏	名古屋圏
200万円以下	11.6%	2.3%	2.6%	2.6%
200万円超～400万円以下	23.3%	9.3%	15.8%	2.6%
400万円超～600万円以下	34.9%	32.6%	39.5%	15.8%
600万円超～800万円以下	16.3%	20.9%	21.1%	36.8%
800万円超～1,000万円以下	7.0%	20.9%	13.2%	21.1%
1,000万円超～1,200万円以下	2.3%	4.7%	5.3%	10.5%
1,200万円超～1,400万円以下	2.3%	2.3%	0.0%	7.9%
1,400万円超～1,600万円以下	0.0%	2.3%	2.6%	0.0%
1,600万円超～1,800万円以下	2.3%	0.0%	0.0%	2.6%
1,800万円超～2,000万円以下	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2,000万円超	0.0%	4.7%	0.0%	0.0%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
平均年収[万円]	529	731	613	797

個人年収1,000万円超 名古屋圏→東京圏 約7%→約14%、東京圏→名古屋圏 約8%→約14%
 平均年収の変化 名古屋圏→東京圏 +202万、東京圏→名古屋圏 +184万

転職前後の役職

	名古屋圏→東京圏	東京圏→名古屋圏	
役職アップ	7.9%	11.1%	役職アップ 名古屋圏→東京圏 約8% 東京圏→名古屋圏 約11%
役職変化なし	81.9%	83.3%	
役職ダウン	10.2%	5.6%	

➤ 東京圏→名古屋圏では、年収増とあわせて役職アップする層が一定みられる

3. Webアンケート調査（抽出集計）

「転職後に年収増」（名古屋圏→東京圏43/127人（約34%）、東京圏→名古屋圏38/108人（約35%））

転職前後の業種

	名古屋圏→東京圏		東京圏→名古屋圏	
	名古屋圏	東京圏	東京圏	名古屋圏
農業、林業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
漁業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鉱業、採石業、砂利採取業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
建設業	0.0%	7.0%	2.6%	5.3%
製造業	27.9%	27.9%	23.7%	28.9%
電気・ガス・熱供給・水道業	0.0%	0.0%	5.3%	7.9%
情報通信業	7.0%	9.3%	5.3%	10.5%
運輸業、郵便業	4.7%	2.3%	0.0%	2.6%
卸売業、小売業	0.0%	2.3%	18.4%	15.8%
金融業、保険業	16.3%	7.0%	5.3%	5.3%
不動産業、物品賃貸業	2.3%	0.0%	2.6%	0.0%
学術研究、専門・技術サービス業	4.7%	4.7%	5.3%	2.6%
宿泊業、飲食サービス業	4.7%	0.0%	5.3%	5.3%
生活関連サービス業、娯楽業	7.0%	4.7%	0.0%	0.0%
教育、学習支援業	2.3%	2.3%	2.6%	7.9%
医療、福祉	14.0%	14.0%	10.5%	2.6%
複合サービス業	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%
サービス業（他に分類されないもの）	7.0%	14.0%	7.9%	0.0%
公務	2.3%	0.0%	5.3%	5.3%
その他：	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

名古屋圏→東京圏 金融業、保険業が減、建設業／サービス業が増

東京圏→名古屋圏 医療、福祉／サービス業が減、製造業／情報通信業／教育、学習支援業が増

- 年収増を伴う転職では、移動方向によって業種構成に違いがみられ、東京圏→名古屋圏では製造業・情報通信業などで増加がみられる

3. Webアンケート調査（抽出集計）

※愛知県：名古屋市を除く愛知県全域

名古屋市・愛知県※→東京圏への転出者の特徴（名古屋市→東京圏75人、愛知県→東京圏52人）

転職前後の業種

転職理由

	名古屋圏→東京圏		愛知県→東京圏	
	名古屋市	東京圏	愛知県	東京圏
農業、林業	1.3%	0.0%	0.0%	3.8%
漁業	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%
鉱業、採石業、砂利採取業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
建設業	0.0%	4.0%	0.0%	3.8%
製造業	18.7%	20.0%	26.9%	23.1%
電気・ガス・熱供給・水道業	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%
情報通信業	13.3%	17.3%	5.8%	9.6%
運輸業、郵便業	2.7%	2.7%	3.8%	3.8%
卸売業、小売業	6.7%	8.0%	7.7%	3.8%
金融業、保険業	16.0%	9.3%	3.8%	1.9%
不動産業、物品賃貸業	2.7%	2.7%	0.0%	0.0%
学術研究、専門・技術サービス業	1.3%	1.3%	1.9%	1.9%
宿泊業、飲食サービス業	4.0%	1.3%	3.8%	3.8%
生活関連サービス業、娯楽業	6.7%	1.3%	1.9%	5.8%
教育、学習支援業	1.3%	1.3%	3.8%	3.8%
医療、福祉	9.3%	10.7%	19.2%	17.3%
複合サービス業	1.3%	2.7%	1.9%	0.0%
サービス業（他に分類されないもの）	12.0%	13.3%	5.8%	5.8%
公務	1.3%	0.0%	3.8%	3.8%
その他：	1.3%	2.7%	7.7%	7.7%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	名古屋市→東京圏		愛知県→東京圏	
	名古屋市	東京圏	愛知県	東京圏
1. やりたい業務・プロジェクトに携われる環境を求めた	21.3%	17.3%		
2. 自分の能力・スキルをより活かせる仕事を求めた	20.0%	17.3%		
3. 裁量を持って仕事を進められる環境を求めた	6.7%	9.6%		
4. 挑戦的な仕事に取り組める機会を求めた	10.7%	11.5%		
5. 成長の機会（学習・研修・新しい業務）が多い環境を求めた	12.0%	15.4%		
6. 成果や貢献がより適切に評価される環境を求めた	9.3%	11.5%		
7. 納得できる昇給・昇進の機会を求めた	14.7%	11.5%		
8. 処遇（年収・賞与）を改善したいと思った	18.7%	19.2%		
9. 労働時間や残業の負担を見直したいと思った	12.0%	15.4%		
10. 柔軟な働き方（在宅・フレックス等）が可能な環境を求めた	9.3%	7.7%		
11. 休日・休暇を取りやすい環境を求めた	14.7%	7.7%		
12. 自分に合うマネジメントのもとで働きたいと思った	5.3%	3.8%		
13. 自分に合う職場の雰囲気・人間関係を求めた	16.0%	15.4%		
14. 意思決定が速く、業務が効率的に進む環境を求めた	1.3%	3.8%		
15. 将来性のある企業で働きたいと思った	14.7%	11.5%		
16. 将来性のある業界で働きたいと思った	5.3%	11.5%		
17. 納得できる勤務地・通勤条件を求めた	10.7%	7.7%		
18. グローバルな仕事に携わりたいと思った	2.7%	3.8%		
19. 家族の事情（親の介護など）に対応できる働き方が必要だった	5.3%	11.5%		
20. 配偶者の転職や転勤などにより、自身も転職する必要が生じた	13.3%	15.4%		
21. その他：	2.7%	5.8%		

名古屋市→東京圏 7. 昇給・昇進 / 11. 休日・休暇の取りやすさ / 15. 将来性が上位

➤ 名古屋市→東京圏では、情報通信業・金融業等の割合が相対的に高く、転職理由では昇給・昇進、休日・休暇、将来性のある企業がやや高い

4. まとめ

- 名古屋圏から東京圏への転職を伴う転出では、希望する求人の多さが最も高く、東京圏の求人の厚さが移動理由の一つになっている
- 名古屋圏から東京圏への転職理由では、やりたい業務、能力・スキルの活用、処遇改善が上位であり、都市圏移動を伴う転職は、年収だけでなく仕事内容に関する要因も大きい
- 大阪圏との比較では、名古屋圏→大阪圏で能力・スキルや挑戦的な仕事が相対的に高く、東京圏と大阪圏では転職理由に違いもみられる
- 名古屋市と愛知県内その他では、東京圏へ転出する層の業種構成や転職理由に違いがみられ、地域・産業構造を踏まえた把握が必要
- 東京圏へ転出することで、生活費・住居費は悪化する一方、生活のしやすさ／生活のゆとりは改善しており、高コストであっても生活面で改善を感じる層がみられる